

令和元年度
事業報告書

令和元年4月1日～令和2年3月31日

NPO 法人 FORYOU にこにこの家

令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人 FORYOU にこにこの家

期間 自 令和元年4月1日

至 令和2年3月31日

1 事業の総括（成果及び課題）

- (1) 「誰にも優しいまちづくり」を目指すNPO法人として、「社会教育」、「学校教育」、「家庭教育」が重なり合った地域社会における「共生」「協働」「連携」を踏まえた地域福祉に取り組んできた。

「介護予防事業」「地域交流事業」「児童館事業」「心の輪事業」「防災・減災事業」を実施し、さらに新たな二つのことに取り組んだ。

【子ども・子育て応援社会】を目指し、子ども食堂の助成金を活用し、「子どもの貧困問題」の一助として、子どものサロン「にこ寺子屋」に取り組み、【シニアがシニアを支える社会】を目指し、「住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業」を実施し、新たな視点から事業を展開した。

また 小中高生のボランティアの他に昨年に引き続き、東北福祉大学健康科学部6名がミニディサービスや東四郎丸児童館の活動にインターンシップとして参加し、次世代育成に広がりがあった。

地域福祉に取り組むNPO法人として 子どもも高齢者の方も何らかの障がいを持つ方も、地域みんなが気軽に集い、交流し支え合う憩いの場所として、『みんなて手をつなごう』『みんなて支え合おう』を念願に、経理面及び情報開示面での透明性を意識した運営を行いながら、「誰にも優しいまちづくり」に取り組んだ。

(2) 【介護予防事業】



～ふれあいデイホーム事業～ミニディサービス：高齢者のサロン活動 1995年～年齢を重ねても自分らしく生きるために、興味のあるレクリエーションに参加し、利用者さん同士交流を図り、つながりあえるサロンとなっている。

月曜日は講師を迎えてのフラダンスや民謡教室、火曜日はカラオケ、麻雀サロン、おでかけ、野外活動を行い、「元気な高齢者」を目指す活動を行った。麻雀サロンには男性も多く参加し、ミニディサービスは意義のある高齢者のサロン活動となった。

レクリエーションでの達成感や仲間づくり、「感謝祭」での発表や子どもたちとの交流を通して心の支え合い事業ともなった。また、健康管理としてスローフードなヘルシーランチを提供して介護予防に努めた。

個人を尊重した対応を心がけ、利用者さんの存在を活かせる活動になるようスタッフ全員で共有し、活動を行った。

年間利用者延べ人数	613 人	平均利用者数/回	9/回
年間事業従事者延べ人数	392 人	平均事業従事者数/回	6/回



麻雀サロン：利用者さんの声「認知症防止になるね！」 山形県鶴岡の庄内物産館前で🎵

～住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業～ 2018年～

今後迎える超高齢社会の中で シニアがシニアを支える

「地域における住民同士のささえあい事業」の基盤づくり

昨年度実施した訪問型生活支援モデル事業からの学びを活かし、シニアがシニアを支える東中田地区を目指し、「地域における住民同士のささえあい事業」の基盤づくりに取り組んだ。モデル事業に引き続き、四郎丸地域包括支援センター・袋原地域包括支援センターと連携し、7月から9月に日常生活支援活動の説明会や研修会を3回実施し、さらに生活サポーターとしてのあり方講習会を行い、生活サポーター10名が誕生し、活動を続けている。孤立しない日常生活応援の一助となっている。

利用する方からは「ありがとう。助かった。」の言葉をいただき、必要な事業と考え、今後も継続して行う予定である。介護予防改正に伴う地域の在り方や、シニアがシニアを支える仕組み作りの基盤づくりができた。

	利用者数	24 名
	食事作り	72 回
	草取り	6 回
	ガラス磨き	6 回
	通院付添い	8 回
	回数	92 回

～住民主体による訪問型地域支え合い活動～
 ＊生活サポーターサービス＊
 ご利用できる方：要支援1・2の方、認知力チェックリスト該当者
 サポーター：ヘルパーや訪問支援員、サポーター研修受講者が担当します。

生活サポーターサービス/ 月～金 9時30分～17時
 費用：往復1,200円
 草取りは2人で1時間4,200円（ゴミ処理含む約8,520円）
 キャンセル料の発生は発生します
 急病のキャンセルは1週間前まで

掃除・窓ガラス
拭き・新築掃除
庭・電線交換等

洗濯・物干し
アイロン掛け

ヘルメット
（ヘルメット
着用）
掃除機
掃除機

調理・配膳
調理・配膳

買い物・郵便
買い物・郵便

通院・送迎
通院・送迎

入浴・お風呂
お風呂の
お風呂の
お風呂の

散歩・買い物
散歩・買い物
散歩・買い物
散歩・買い物

洗濯・掃除
洗濯・掃除
洗濯・掃除
洗濯・掃除

通院・送迎
通院・送迎
通院・送迎
通院・送迎

連絡先）東中田地区包括支援センター TEL: 243-6051
 袋原地域包括支援センター TEL: 243-6053

お問い合わせ）NPO法人FOR YOU にご依頼
 TEL: 241-0658 携帯: 090-9532-1248 (9時)

NPO法人FOR YOU にご依頼
 〒981-101 山形県東中田郡丸森町寺尾2
 TEL/FAX 241-0658 携帯 090-9532-1248

(3) 【地域交流事業】

地域の様々な団体や学校、地域の人たちと連携し、子どもも高齢者も、病気や障がいを持っていても、すべての人が安心して生活できる、地域で地域の応援ができる東中田地区を目指し、いろいろな活動を継続して実施した。毎年行っている「にこにこの家感謝祭」には子どもから高齢者の方まで210人の方たちが参加しました。



「ほっとネット in 東中田」【代表・事務局】2003年～

～東中田地区19団体と地域福祉ネットワーク活動～

社会福祉法人、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、NPO法人、生活支援事業所、児童館、連合町内会、社会福祉協議会、市民センターなど19団体

【年17回の会議開催、講演会・講習会・交流会・東中田けんこうひろば 年4回】前年度と同じ活動目標「安全安心なまち東中田 ～地域支えあいネットワーク～」に添って、年間カレンダー3回発行、講演会2回、講習会1回など地域に向けての活動を参加団体と共に連携して実施できた。更に今年度は東中田地区社会福祉協議会と協働で「安全・安心なまち東中田」を目指し、地域連携会議を開催し、6月、10月には福祉委員さんや町内会長さんたちが参加する講演会を開催し、東中田地区全体で安全・安心な東中田を目指した。にこにこの家が中心となり、調査やプレート看板案や制作を担当し、「いつとき避難場所」や「がんばる避難施設」プレート看板を完成した。

また、東中田市民まつりでは、太白区保健福祉センター家庭健康課、東中田保健センターと「東中田けんこうひろば」を開催し、市民協働・地域連携を推し進めた。

3月末からの新型コロナウイルス感染拡大のため、3月6日予定の東四郎丸小4年生と地域やほっとネット各団体との交流会、及び3月3日予定だった今年度の成果である「いつとき避難場所」や「がんばる避難施設」プレート看板の設置が次年度に延期となった。

【令和元年度「安全安心なまちづくり事業」の取り組み】

【目的】震災後10年目の安全・安心なまち東中田のために

- ・いつとき避難場所等の確認&冊子の直し
- ・いつとき避難場所とがんばる避難施設に」プレート看板設置

【日程】

- 4～6月： ほっとネット運営委員会と東中田地区社会福祉協議会との連携会議開催
- 6月21日： ほっとネット講演会【安全安心のまち東中田①】開催 情報提供など
- 9月末： 中田中部及び東中田地区連合町内会へ
 - ・「安全安心なまちづくり事業」概要・ほっとネット講演会参加の依頼配布

10月18日：【ほっとネット講演会】

目標：地域の中の助けあい、支えあいのある安全安心なまち東中田
を作っていこう！！～ほっとネット in 東中田との連携事業～

参加者：町内会長さん、社会福祉協議会役員さん、福祉委員さん、
ほっとネット in 東中田の各施設、地域のみなさん

内容：

- 1) ご挨拶 東中田町内会連合会 菅井勝之会長
- 2) 「安全安心なまちづくり事業」についての説明
東中田地区社会福祉協議会 杉山会長
- 3) いっつき避難場所とがんばる避難施設調査、冊子の発行及び東中田地区看板
設置について ほっとネット in 東中田 小岩代表
- 4) 「みんなのアイデアで看板を！」ワークショップ
ほっとネット in 東中田 小岩代表

10月末： いっつき避難場所とがんばる避難施設調査開始

担当 ほっとネット in 東中田事務局にこにこの家

11月～

12月： 回収・まとめ

担当ほっとネット in 東中田事務局にこにこの家

11月1日： 地域連携会議

15日： ほっとネット in 東中田定例会「プレート看板の検討」

12月6日： 地域連携会議「プレート看板の検討」

担当 ほっとネット in 東中田事務局にこにこの家

1月： プレート 看板・避難所マップ冊子制作

担当 ほっとネット in 東中田事務局にこにこの家

2月： 地域連携会議「プレート看板の決定」

2月： プレート 看板設置について（地域探検を含む）

・袋原中・四郎丸小・東四郎丸小へ子どもたちと看板取り付け依頼

3月3日： 「いっつき避難場所」「がんばる避難施設」プレート看板設置

東中田町内会連合会、東中田地区社会福祉協議会、ほっとネット in 東中田、袋原中学校・四郎丸小学校・東四郎丸小学校と共に地域に取り付けをする予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により、延期。

次年度へ

- ・「いっつき避難場所」と「がんばる避難施設」プレート看板の設置
- ・助っ人マップ制作
- ・防災・減災冊子作成

*** 6月講演会 【安全安心のまち東中田①】 6月21日（金）10～12**

参加者：町内会長・社会福祉協議会福祉委員さんなど地域の関係者

太白区保健福祉センター地域支援係 藤嶋さん 32名

《内容》 安全安心なまち東中田を目指し、地域の中の助けあい、支えあいのある安全安心なまち東中田を作っていこう！

福祉施設からの情報提供 だんでらいおん、仙台ワークキャンパス

NPO 法人 FOR YOU にこにこの家 小岩理事長



*** 10月講演会 【安全安心のまち東中田②】 10/18（金）10～12 42名**

《内容》 安全安心なまちづくり みんなのアイデアで看板を！



東中田町内会連合会菅井会長
東中田地区社会福祉協議会杉山会長
仙台市社会福祉協議会竹本氏



太白区役所障害高齢課地域支援係
藤嶋氏の応援メッセージ！！

*東中田市民まつり 【東中田けんこうひろば】東中田保健センターと共催
10/6 (日) 10~14 120名



*日赤講習会 救急法～AEDの活用～

2/21 (金) 9:50~12

43名

東中田日本赤十字奉仕団の協力で、緊急時に役に立つ救急法を学びました。



今年度は障害者の方たち20人も一緒に体験しました。



～東中田地区の3小学校・中学校と地域の連携事業～

袋原中学校区学びのコミュニティ「かっこ和太鼓隊」は、家庭教育、学校教育、社会教育の相互連携を包含した生涯学習社会実現の一環となっている

*東中田復興プロジェクトかっこ和太鼓隊

昔、名取川が氾濫した時に伊達政宗様が建立した観音様を名取川のカニが助けたというカニ伝説にちなんで「東中田復興プロジェクトかっこ和太鼓隊」を結成。

「助け合いのまち」東中田地区の三小学校と袋原中学校から集まった小学生や中学生、PTA、教師、スーパーバイザー、地域住民などが「地域を、みなさんを元気にしたい。地域の、みなさんの笑顔がみたい。」とお祭りなどで和太鼓演奏をしている。

また 練習会場は四郎丸小学校で、学コミ会議は袋原中学校で開催し、和太鼓は各学校からお借りするなど、学校の協力と理解で活動を展開することができた。

【学コミ会議4回、活動日4回・発表日7回・320名参加】

	合計	2年	3年	4年	5年	6年	中学生	大人	スーパーバイザー	学校
四郎丸小	11	0	1	3	2	1			2	2
袋原小	16	2	2	1	3	3		1	1	3
東四郎丸小	31	7	8	0	6	3		1	0	6
中学校	9						6	1	0	2
地域	4							4		
合計	71	9	11	4	11	7	6	7	3	13



【 全パターン指導完了 】
 前回同様、50人以上の参加者みんなで、急ピッチでA・B・Cパターンを練習しました。新メンバーは一生懸命練習に追いつこうと頑張っていました。

【 初心者の子どもたち初デビュー 】
 初心者の子どもたちにとっては、初めての地域お披露目デビューです。緊張して自信をなくす子もいましたが、経験者の先輩が励ましたりフォローしたりする様子が見られ、立派に演奏できました。

【東中田子育てネットワーク】

代表・事務局 2013年～



～東中田地区の3児童館が中心となり、地域の子育て支援事業に携わる団体や
児童発達支援センター、保健センターとの連携事業～

乳幼児親子対象の「0・1・2・3おやこ ひろば in 東中田」、障がいのある子どもそうでない子ども一緒にあそぼうと「ひがしなかつたかにつこまつり」を地域の子育て支援団体と連携して行えた。また「老人クラブ運動会」に参加し、世代間の心の交流が図れた。地域の子どもたちや親子などたくさんの方が楽しみにしてくれる連携事業となっている。

連携団体：東中田児童館・袋原コミュニティ児童館・東四郎丸児童館

仙台市袋原たんぼぼホーム ・太白区保健福祉センター 家庭健康課
読み聞かせ グーチャーパー ・東中田市民センター ほっこりサロン
アフタースクールぱるけ・めろんの会
東四かにつこ放課後こども教室・NPO法人FORYOUにこにこの家

*0.1.2.3 おやこひろば in 東中田 6/18(火)

東中田地区の子育て支援団体でネットワークを組み、地域に皆さんでつながって子育てを応援することが目的で実施

協力：仙台市袋原たんぼぼホーム 太白区保健福祉センター家庭健康課
グーチャーパー ほっこりサロン

【会議：東中田保健センターで2回、東四郎丸児童館で3回

イベント参加者 179名(乳幼児 119・大人 60) スタッフ 39名 合計 214名】



「かに伝説のお話」

東中田地区に伝わるカニのお話を
カニに変身した館長たちがします。



「ダンボール迷路」

乳幼児親子や幼稚園児に大人気！
みんなの笑顔がたくさん見られました。

＊「老人クラブふれあい運動会」10/26（土）

東中田地区の児童クラブが合同で参加し、運動を通して地域の皆さんとの交流を図った。「おらほのラジオ体操」から始まり、玉入れを行い、「輪投げでトライ」では校長先生や町内会長さんとシニアの方たちと仲良く手をつなぎ、協力し合った。

【100人の地域の方、各児童館スタッフ6人、子ども24人】



輪投げでトライ



鬼ごっこ玉入れ

＊「ひがしなかだかにっこまつり」11/2（火）

障がいを持っている子どもも持っていない子どももみんなで集まって遊ぼう!! と児童館、放課後ケア事業所、放課後子ども教室などと連携し、発達障害児親子を支援するイベントを実施した。

協力：仙台市袋原たんぼぼホーム アフタースクールぱるけ グーチャーパー
東四かにっこ放課後子ども教室 にこにこの家

今年のテーマは「かにっこワールドカップ2019」

キャッチ☆ボール、かにっこマジックキューブ、マイラグビーボールをつかって
トライ! アスレチックスタジアム、読み聞かせ、ほっとサロンなどのコーナー
エンディングは定番のエピカニクスで盛り上がりました。

【96名（乳幼児38・小20・大38） スタッフ29名 合計125名】



マイラグビーボールでトライ! 🍡



にこにこ駄菓子屋 🍡

(4) 【児童館事業】

「手をつなぐ児童館」「子どもの未来を応援する児童館」として、子どもの健全育成を目指し、仙台市1館、白石市2館の児童館運営を行った。

地域や企業の応援をいただき、活動を広めることができた。

【仙台市東四郎丸児童館】2005年～

子ども・子育て応援社会を目指して、“手をつなぐ児童館”“子どもの未来を応援する児童館”として、「にこにこ児童館応援隊」「地域まるごと応援隊」の協力を得ながら、「地域のみんなで子育て」を実践し、学校教育、家庭教育、社会教育が重なり合って、子どもたちの笑顔を未来へ繋げていけるような児童館運営に取り組んだ。

- 1) 学校・家庭・地域の連携を重視して、児童館運営の4柱を丁寧に実施し、切れ目のない支援ができる環境作りを進めた。
- 2) 児童館が子どもの身近な遊び場、安全・安心な居場所となるべく、子どもたちの自己肯定感を育む健全育成を行った。
- 3) 孤立しない、安心して子育てできる、子育ての共有ができる、子どもたちの親に寄り添える子育てを応援する児童館運営を行った。
- 4) 家庭福祉を踏まえた子ども・子育て支援、にこにこ児童館応援隊会議でも議題に取り上げ、学校やほっとネット in 東中田の福祉施設などと連携し、地域連携子ども・子育て応援を進めた。

～手をつなぐ児童館・地域のみんなで子育て～

・にこにこ児童館応援隊

地域、大学、学校、行政、福祉団体などで構成する児童館運営委員会 委員15名

・ほっとネット in 東中田との連携

民生委員・児童委員、地域包括支援センター、生活支援事業所、児童館、社会福祉法人、地区社協、連合町内会、市民センターなど19団体が仲間である。

小学校の福祉授業にも協力し、学校と施設、地域の交流会も毎年開催している。

・保育所、幼稚園、学校との連絡会

12、1月【保育所や幼稚園との情報交換会】 4月 【小学校との情報交換会】

・東四郎丸小学校東四かにかっこ放課後子ども教室との連携事業・・・月1回のコラボ事業

まち探検、ハロウィン、ドッチビーなど

・袋原中学校区学びのコミュニティ事業 東中田地区小中学校四校の連携事業（事務局）

「かにかっこ和太鼓隊」活動を行い、家庭・学校・地域連携を図る。

・東中田子育てネットワーク事業（代表・事務局）

東中田地区の児童館や子育て支援団体との連携

・かにかっこうちちゃんS' 事業

地域のおとうさんスタッフが企画・運営。「かにかっこ村の秋まつり」などを実施

【利用者サービスの向上】

児童館が地域に生きる子どもたちや親たちの「地域のほっとステーション」となるよう利用者のサービスに努めた。健全な遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設として、児童健全育成・子育て家庭支援・地域交流推進・放課後児童健全育成事業に取り組むと共に、事故保障体制を図り、サービスの向上を図った。

【地域特性を考慮した利用者サービス】

ひとり親世帯や心身を患っている親世帯、障害児を持つ世帯、核家族などが多く、家庭機能の低下と子どもの心身の不健康と発達の遅れを引き起こしている地域であることを踏まえ、子どもたちの心の歪みや心の余裕がない家庭に対し、家庭福祉を踏まえた子育て支援を地域や学校と共に取り組んだ。

*袋原中学校区学びのコミュニティ事業

*かにかっこちゃんS'事業

【地域の子育て支援の拠点】

命を宿ったときからの子育て家庭の支援、切れ目のない支援の充実を図った。

*子育て支援室『ma・ん・ma ルーム』事業

*東中田子育てネットワーク事業

【健全育成事業】

子どもの未来を応援する児童館として、児童館が子どもの身近な遊び場、安全・安心な居場所となるべく、子どもたちの自己肯定感を育む健全育成を地域社会全体で行った。

- 1) 子どもたちの孤立予防のために、当法人が実施している「介護予防事業」「防災・減災事業」「地域交流事業」「心の輪事業」を活用し、「社会の絆」を強め、子どもを守ることや子どもの生活習慣作り、乳幼児の発達段階にあわせた子ども・子育て応援に取り組んだ。
- 2) 子どもたちが未来に希望が持てるような環境づくりや一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちの自己肯定感が向上するような取り組みを学校・地域・企業・社協と共に実施した。

*東中田地区小中学校との連携事業

*学びのコミュニティかにかっこ和太鼓隊児童館が事務局・館長は事務局長。

「かにかっこ和太鼓隊」活動を行い、家庭・学校・地域連携を図り、子どもたちの自己肯定感を高める活動となった。

*東中田子育てネットワーク事業 代表・事務局

東中田の三つの児童館や障がい児親子支援事業所、保健センターや子育て支援団体と連携し、「0・1・2・3親子ひろば」「東中田かにかっこまつり」を実施し、三児童館で「老人クラブ運動会」に参加した。

*次世代育成事業

仙台市社会福祉協議会の夏の高校生ボランティア、袋原中学校職場体験、東北福祉大インターンシップ受入やにこにこ児童館まつりに仙台東高校マジック部、中田中科学部がイベント参加等

*子どもボランティア チームかにかっこ：児童クラブ子どもボランティア

会議を行いながら、にこにこの家感謝祭、にこにこ児童館祭り、クリスマス会、星空コンサート、ピカソの日等でボランティア活動を行った。

*東四かにつこ放課後子ども教室とコラボ事業
児童館と東四郎丸小の放課後子ども教室の連携し、月 1 回実施し、異学年間交流を図った。まち探検マップ作りでは今年度も佳作を受賞

*心の輪事業・・・関西や東京の企業との連携事業
・由本さんとゆかいな仲間たちイベント
・西宮阪急百貨店絵本「宮城県へ絵本を送ろう プロジェクト」で気仙沼や塩釜、亘理などの児童館に絵本を配布した。



【子育て家庭支援】

命を宿ったときからの子育て家庭の支援、孤立しない、安心して子育てできる、切れ目のない支援ができる環境作りに力を入れた。また子育ての共有ができる子育て支援、子どもたちの親に寄り添える子育てを応援する児童館運営を行った。

～誕生から小中学生までのつながる支援～

☆ 子育て支援室『ma*ん*ma ルーム』

地域子育て支援拠点として子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育て相談、情報提供などを実施し、子育てを支援する。

*東北福祉大学健康科学部と連携

リフレッシュクラスワークショップを開催

「生き生きと生きる力、育む力を支える ～にこにこ・ママクラス」「グランマクラス」「多世代交流」ワークショップを開催した。

*児童発達支援事業所袋原たんぽぽホームと連携

乳幼児親子対象の「にこちゃんルーム」に来ていただき、早めの乳幼児期発達障害サポートを心がけた。

*四郎丸地域包括支援センターさんと連携

「認知症サポーター」講座をしていただき、子どもたちが社会を知る取り組みを行った。

*太白区保健福祉センター家庭健康課との共催事業

太白区子育て支援ネットワークに参加

*親の育成・意識啓発

・若竹よいこのくに保育園園長や栄養士さんから「乳幼児の食事」についての講話

・「小さな防災・減災」にこにこの家理事長でもある館長からの講話

☆ 家庭福祉を踏まえた子育て支援

○グリーゼーンの子どもたちや親子支援の必要な家庭の取り組み

【東四郎丸小学校との連携】

○障がい児とその家庭への支援 「めろんの会」毎月第2木曜日開催

☆いつでも来られる児童館

- 子育て支援室『ma*ん*ma ルーム』乳幼児親子や地域の祖父母と一緒に遊べる場。授乳できるスペースや食事スペースもある。
- 自由来館の子どもたち 遊戯室でのレクリエーションの自由参加
- かっこルーム 小・中・高校生が遊びや勉強などで自由に使える部屋
- 地域の保育所や障がい児支援施設来館活動
午前中に自由来館し、児童館で遊ぶ。
- 小学校の地域探検授業
東四郎丸小の子どもたちが地域探検時に休憩及び昼食などで児童館を利用

【地域交流推進】

“地域のみんなで子育て”を念頭に様々な形で地域に向けニーズにあわせた情報発信をし、地域や学校、ほっとネット in 東中田の福祉施設等と連携し、子どもの可能性が広がる体験と活動の場を提供し、家庭福祉を踏まえた子ども・子育て支援を地域連携して実施した。

～家庭教育、学校教育、社会教育との調和～

【にこにこ児童館応援隊】2005年～

仙台市内の教育機関、福祉施設、専門機関、地域住民との連携による児童館の運営サポート機関。

【ほっとネット in 東中田(東中田地区福祉ネットワーク)】2003年～(代表・事務局)

地域の福祉施設や連合町内会、市民センター、地区社教など19団体と連携し、避難所ボードを作成2020年に小中学生と一緒に町内に設置する予定。

【東中田子育てネットワーク】2013年～(代表・事務局)

東中田の三つの児童館や障がい児親子支援事業所、保健センターや子育て支援団体と連携し、「0・1・2・3親子ひろば」「東中田かっこまつり」を実施し、「老人クラブ運動会」に参加。

【袋原中学校区学びのコミュニティ事業】2012年～(事務局長・事務局)

袋原中学校と三小学校、市民センターと連携し、「かっこ和太鼓隊で地域に笑顔を」活動などを実施。会議4回、演奏12回

【東四かっこ放課後子ども教室とコラボ事業】2012年～

児童館と東四郎丸小の放課後子ども教室の一体化を図る事業を月1回実施し、異学年間交流を図った。

【かっことうちゃんs'】2009年



地域のおとうさんスタッフが企画・運営。今年度は「紙飛行機作り」「かっこ村の秋まつり」のイベントを実施。

父親の子育て参加を促すいろいろな体験や異世代間地域交流事業。

【にこにこひろば】2005年～

望ましい子どもの心の育ちの取組みとして実施

- ・ケアハウス大宮、グループホームおちあいとの交流。「七夕飾り」「ハロウィン」
- ・にこにこの家で高齢者との交流ボランティア
- ・4、5年生社会体験・・・館長とコンサートへ

【にこにこタイム】2005年～

地域の子どもたちとランチづくりや手芸、チョコ作りなどいろいろなことにチャレンジ。

【企業さんとの心の輪事業】2012年～

- ・西宮阪急百貨店との「宮城県へ絵本を送ろう プロジェクト」
- ・由本さんとゆかいな仲間たち」関西や東京の企業さんが関西たこ焼きカフェやフットサル教室、読み聞かせを開催



【放課後児童健全育成事業】

共働き家庭やひとり親家庭など放課後家庭に保護者等がない小学生を対象に、遊びや生活の指導を行い、友達と楽しく過ごすことを通して、児童の健全な育成を図った。子どもの可能性が広がる体験や活動の場を提供し、子どもたちの生きる力を育み、将来社会的自立ができるような支援を行った。

～子どもの未来を応援する児童館～

児童クラブでは、「一個人の尊重」と「一個人の責任」の大切さを培うために、「地域を知る・地域で守る・地域の中へ・地域と共に」の取り組みを実施

- 1) 「あいさつ」のできる子どもの育成や生活習慣を身につけることができるよう、日常の中で指導
- 2) 「子どもは社会の子ども」という観点から障害のあるなしに関わらず、児童の受入れを行った。

東中田子育てネットワークにおいて、10団体と「東中田かっこまつり」を開催し、障がいを持っていてもいなくてもみんな一緒に遊ぼうと当児童館でイベントを開催した。また仙台市南部発達相談支援センターや太白区保健福祉センター家庭健康課と連携し、保護者や利用者に向けての対応に協力をいただいた。

- 3) スポーツ、遊び、読書等を通して、協調性と連帯感を養い、思いやりのある子どもの育成のために「チャレンジひろば」「スポーツひろば」「スタディひろば」を設け、子どもの可能性が広がる体験を行い、楽しい児童館活動を推進した。

【チャレンジひろば】水・金・土曜日

簡単工作、手作り創作、遊び等にチャレンジ

【スポーツひろば】月・土曜日 いろいろな運動遊びやスポーツを通して健康増進のため、ドッチボール、ボッチャ、バドミントンなどを実施。

【スタディひろば】月～土曜日 宿題や興味のある勉強、読書・読み聞かせ等を通して向上心を図った。

☆エコクラブ…児童クラブの子どもたちとエコロジーに取り組んだ。

花植え、草取り、清掃など

☆にこにこひろば…世代間交流、社会体験（地域の高齢者や障害のある方たちとの交流の場）・4、5年生体験学習…館長とコンサートへ

☆音楽隊…みんなで1つのものを作りだし、やりとげることを目標とする。

にこにこひろばや保護者会などで発表。

☆ユニバーサル…点字ブロック、バリアフリー体験

☆子ども110番の家…地域探検、にこにこ探検マップ作り。

3年間損保協会マップづくりで佳作受賞。

☆がんばるんば…スポーツに積極的取り組み、「やる気」を促す。

自己啓発のため「やる木」を掲示。

☆防災・減災学習プログラム・・・入会時にリュックをプレゼントし、防災リュックを家庭で準備し、防災リュックを背負って防災訓練を実施した。命を守ることを伝える防災・減災ワークを実施。

☆クリスマス活動報告会・・・学校の先生や地域の方たちを招待し、パワーポイントで1年間の自分たちの活動発表、手作り紙芝居発表

☆福祉施設訪問・・・七夕やハロウィン、クリスマスの際に、手作りプレゼントを持って施設を訪問



近くの施設の方へプレゼントする七夕飾りを作りました。



ケアハウス大宮とグループホームおちあいのみなさんをお迎えして、歌や演奏を発表し、お茶でおもてなし



【白石市第一児童館・第二児童館】 2015年～

1. 【施設運営】

「子どもが健やかに育つまちづくり」「子ども・子育て応援社会」の実現を目指し、白石市が育ててきた児童館運営を活かして、望ましい子どもの心の育ちと環境を整えて行くために、「手をつなぐ児童館」「子どもの未来を応援する児童館」として「地域みんなで子育て」を実践し、児童館が子どもたちにとって安全・安心な居場所になるように、白石第一児童館・第二児童館が連携し、運営を行ってきた。また質の高いサービス、利用者ニーズへの柔軟なサービス、運営の平準化を図るよう取り組んできた。

みんな白石の子どもたちという観点から、第一・第二児童館のコラボ事業や白石の団体からの応援を得て、児童の健やかな育成を図るような取り組みを継続して行ってきた。自己肯定感の向上・親子支援ができる放課後児童クラブの充実を図り、第一・第二児童館と連携し、白石の子どもたちの健全育成に努めた。

令和2年に入ってから新型コロナウイルス感染の拡大により、学校休業のため、「3・11笑顔」イベントや進級お祝い会もできない状況になったことが残念だが、第一・第二児童館とも、白石市子ども家庭課さんからの連絡や申し出に従い、子どもたちの命を守ることを一番に、安全安心の受入を実施した。

「子ども・子育て応援社会」実現を目指す1年間だった。

2. 【放課後児童クラブ事業】

子どもたちの笑顔のために、子どもたちが夢を持って前に進んでいけるようにいろいろな活動を行った。

第一児童館と第二児童館と共有し、「ドッチビー大会」や「にこにこタイム」「まち探検」などを行い、白石という同じ地域に育つ環境づくりを充実させ、生活習慣を身につけ、「挨拶」のできる子どもの育成を図った。

前年度に引き続き、国の施策である子ども・子育て支援新制度に基づき、白石市教育委員会の放課後子ども教室と「放課後子ども総合プラン」の計画を進めた。第一児童館では一体型、第二児童館では連携型を取り入れ、共働き家庭の「小一の壁」を打破し、次世代を担う人材育成のために、安全・安心に過ごし、多様な活動や体験ができる取り組みを放課後子ども教室と連携して行ってきた。

また「子どもは社会の子ども」という観点から自由来館児童の短期受入や障害のあるなしに関わらず、待機児童がでないようにできるだけ多くの子どもたちの受入れを行った。子どもたちの健全育成の根源は家庭教育にあることから、「家庭福祉」を踏まえながら、放課後児童クラブ事業を継続して実践してきた。親の会と連携し、保護者の方たちとの交流を図り、保護者の思いに応えることや白石第一小学校、第二小学校と連携、相談しながら放課後児童クラブの健全育成に取り組んだ。

子どもボランティア「チーム白石っ子」たちは、児童クラブのリーダーとして、まつりの進行などを行ってきたが今年度はいっかんまつりができなかつたりしたので、活動の場が少なかったが、各児童館内でもリーダーとして活動するなど、チーム白石っ子にとって、今後ますます自分を生かせる活動の場が児童館になれるように、館長やスタッフと共に応援体制を構築していく計画である。また「にこにこの家で取り組んできた「心の輪事業」の協力者の支援をいただき、白石のみなさんの協力で、様々な事業に児童が参加し、体験を広げることができ、自己肯定感の持てる子どもの健全育成を行った。

3. 【地域の子育て支援事業】

親の会や子育て支援団体、保育所、幼稚園と連携し、地域の子育て支援を実施した。親の会に参加を呼びかけ、子どもまつり・児童館まつり・遠足・親子クッキングなど親子支援を図った。世代を担う人材育成のための支援として、白石工業高校の職場体験受け入れを継続して行った。また角田支援学校白石分校の協力で、支援の必要な子どもの対応も学ぶことができた。

4. 【利用者のサービス向上】

現状の安全、安心な児童館・放課後児童クラブの事業内容を維持しながら、質の高いサービスや利用者のニーズに柔軟なサービスの提供、放課後児童クラブ事業運営の平準化を図るよう取り組んだ。

○放課後児童クラブ案内を作成し、3月に保護者会説明会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染の影響で学校休校のため実施できなかったため、文書で各家庭へ伝えることとなった。家庭・学校・地域連携の必要性を伝え、子どもの未来のために、児童館の役割～子どもの心に寄り添える、子どもの笑顔を応援する～ために、スタッフ全員団結し、児童館運営に励み、利用者サービスの向上に努めた。

○来館者事故保障・児童クラブ事故保障・児童館イベント保険加入

○保護者との連絡のため連絡帳の活用

○地域の意見を取り入れた運営を行うため、放課後児童クラブの保護者で組織する「親の会」年3回開催

○ホームページや児童館だより、掲示版などで児童館運営の広報

5. 【人材確保・育成】

児童館職員定例会を月1回開催し、スタッフとの共有、資質向上を図るよう取り組んできた。また業務委託当法人と館長で運営会議を随時開催し、健全な児童館運営を行えるようにしてきた。児童福祉施設で働く地域の一員として、「地域のみんなで子育て」とい

う観点に立った健全育成活動や一人ひとりの子どもの個性に応じた支援のできる放課後指導員の専門性、資質意識の向上のために様々な研修受講に参加し、学びを深めてもらった。また NPO 法人としても全てのスタッフに、児童館の意義や児童クラブの役割などを理解してもらえるように、仙台・白石のスタッフ全員で法人研修を行った。各児童館から事業の報告をしてもらい、お互いの児童館運営を知る事で、共有・連携を図ることができた。手をつなぎ、支え合うことを大切に、広い視野をもって子ども・子育て応援をしていくことを学ぶ研修となった。

また 年に一度は各スタッフと面談をし、または随時話し合いをして、相互理解に取り組んだ。放課後支援員としての仕事をしっかりするようスタッフ育成にも努めた。

6. 【事故防止・防犯防災対策】

毎朝の施設内外の自主点検、危険箇所の把握・掲示を計り事故防止に努めた。

毎日の戸締り・消火器点検・避難訓練実施し、防犯防災対策を行った。

7. 【施設維持管理】

就業規則、文書規定、経理規定、個人情報保護規定等の各規定に基づき運営、公の施設であることを念頭に、公平な運営と責任ある業務、各職員で担当を細分化し、故障箇所の早期修理を図り安全に努め、施設の維持管理を行い、限りある資源を大切にするため、リユース、リデュース、リサイクルの実施、また児童クラブ台帳等の管理や業務経理規定に基づき、責任を持って正確な業務を実施した。また 従事者の福利厚生、健康管理など行った。

【白石市第一児童館】

【放課後児童クラブ運営】

- ◎更生保護女性会、いきいきプラザ、ヘルスマイトしろいし、しろいし母親クラブ、ホワイトキューブ等との連携や支援を受け、様々な行事を実施した。
- ◎発達に課題のある児童や支援の必要な児童に対する適切な配慮が出来るように小学校や福祉関係の方々と情報交換や連携をとってきた。
- ◎生活習慣が身につくよう、自分の事は自分ですることを基本とし、下校後の宿題、遊んだ後の片付け、身の回りの始末など指導を行った。
- ◎基本となる挨拶ができるよう率先してスタッフから挨拶を行い、「あいさつ」のできる子どもの育成をはかるように心がけてきた。
- ◎ドッジビーやサッカー、バドミントン、キャッチボール、卓球などスポーツに触れる機会を多く取り入れている。異学年の児童が関わることで良い刺激となっている。
- ◎春、夏休み等は、昼食後に読書時間を設けた。また、1年生が月一回アテネで「おはなしひろば」の読み聞かせの会に参加し、本に触れる機会を多く持ってきた。
- ◎毎月、水曜日は「4時レク」を開催し、登録児童が全員でレクリエーションに参加する時間を設け、高学年がリーダーとして発揮できる活動を行った。

【地域の子育て支援】

- ◎午前中は子育て中の親子に開放したが、あまり利用する親子は少なかった。市外から転勤してきた遊び場を探しに来る親子には、市内の遊び場の紹介も行ってきた。

【利用者のサービス向上】

- ◎「放課後児童クラブのてびき」を作成し、保護者説明会を開催している。
第一小学校一日入学時に児童館について説明を行い、利用しやすい児童館を目指した。
- ◎保護者との連携の為に連絡帳を活用し、こまめに連絡を取り合うようにした。
また、必要に応じて随時、保護者との面談や相談にも対応してきた。
- ◎放課後児童クラブ利用登録児童の保護者で組織する親の会では役員等を中心に保護者の要望や思いに応えられるよう、年3回の役員会を開催した。
- ◎活動を掲示板、児童館便り、ホームページ等で知らせ、信頼をえる努力をしてきた。
- ◎行事ごとにアンケートを取り、保護者の意見等が反映できるようにした。



清風訪問で利用者さんと



みんなでカレー作り



親子でクッキング

【白石市第二児童館】

【放課後児童クラブ運営】

- ◎放課後児童クラブでは、子ども、保護者にとって安全で安心な居心地の良い「居場所作り」を目指し環境を整えてきた。
- ◎子ども一人ひとりの表情、しぐさ、声のトーン等から心身の健康状態の把握、視診に努めた。また、元気に「おかえりなさい」「ただいま」の挨拶を交わし、心を通わせ、安心して児童クラブでの生活に切り替えられるようにした。
- ◎個別支援の必要な子や気になる子については、定例会で話し合いを持ったり、気になる様子をノートに記入したり、スタッフ全員で情報の共有を図ることを心掛けてきた。学校や相談機関と連携を図り、適切なアドバイスをいただき、子ども達が生活しやすいように対応してきた。
- ◎異年齢の交流の場、個々の活躍の場として週1回5時レクを取り入れ、折り紙や工作、ドッジビーなどのいろいろな楽しい経験ができるよう計画した。
- ◎子どもたちの活動を児童館だよりや掲示板、ホームページなどで情報発信してきた。
- ◎月ごとの参加表や「おたよりパック」を通して、保護者との連絡を密に取れるようにするとともに、必要に応じて随時面談をし、子育て支援に努めた。
- ◎放課後子ども教室とも連携し、笹巻作りやしめ縄づくりなどの斎川地区における伝統行事に触れることができ、日常ではできないことを体験することができた。

- ◎第一児童館と第二児童館の子どもたちが一緒に参加して交流を図る「にこにこタイム」では、土曜日の別館の活用に取り組んだ。また「チーム白石っ子」では、児童館まつりのコーナーを企画・担当するなど、高学年にはできる範囲で役割を担ってもらい、自己肯定感を高めることにも努めた。
- ◎子ども達の健全育成と豊かな心の育成を目指し、更生保護女性会、ヘルスメイト白石、しろいし母親クラブ、学校、地域の方等これまで協力をいただいている方たちとのつながりを大切にし、連携を取りながらすすめてきた。
- ◎児童館まつり、ドッジビー大会、夏休みなどの長期休業期間の様々な行事においては親の会の協力が大きい力となっている。



じどうかんまつり



第一・第二児童館で遠足



武家屋敷七夕飾り

(5) 【心の輪事業】 2012年～

震災以降から児童館を応援してくれる企業人や大学生が、子どもたちの笑顔を未来へつなぐ心の輪を広める活動を行ってくれた。

*江藤&今川フットサル教室 2019年～

5/17 元フットサル日本代表の江藤選手と今川さんの所属しているフットサルチームの小山さん、羽藤さんとフットサル教室を開催



*由本さんとゆかいな仲間たち 2012年～

年2回「フットサル教室」「ハリーカフェ」実施。

元セレッソ大阪ユース所属、大学サッカー部所属の阪急百貨店やニットプランナーさんなど企業スタッフのフットサル教室や関西たこ焼きカフェ、絵本の読み聞かせなど児童クラブの子どもたちにクリスマスプレゼントや児童館に絵本も送ってくれた。

☆7.25 「ハリーカフェ」 由本さん自家製のキュウリを使ったサラダ、野菜スープを子どもたちに作っていただき、おいしく食べました。



☆7.26 「由本さんとゆかいな仲間たち」

今川さんのフットサル、由本さん読み聞かせ、仲間たちの関西たこやき、かき氷みんなで〇×クイズを楽しみました



*親和女子大学ユネスコクラブ 2013年～

8/6 (火) 「バースデイ列車」「新聞島にのろう！」

5人のユネスコクラブのお姉さんが子どもたちと楽しく遊びました。



*「東北福祉大学 インターシップ」2018年～ 8/26 (月)～8/29 (木)

6人の東北福祉大学生がにこにこの家と東四郎丸児童館に分かれて活動し、8/27 (火) 児童クラブの子どもたちに「ジグザグ陣地取りゲーム」「新聞の文字をさがそうゲーム」を楽しみました。



***仙台発そなえゲーム輪島 2014年～**

「仙台発そなえゲーム輪島」として、防災・減災教育を連携して実施しているほか、輪島のみなさんから児童館にプレゼントをいただいたりしている。

***西宮阪急百貨店子ども売り場 2012年～ 計2894冊**

震災以降9年にわたる絵本のプレゼント。気仙沼や亘理などの児童館にも配布した。



***次世代育成 インターンシップや小中高生、大学生ボランティア受け入れ**

～にこにこの家 訪問・ボランティア～

- *四郎丸小2年生「地域探検」…にこにこの家の活動について
- *四郎丸小4年生「かにっこ和太鼓隊の誕生」と「にこにこの家の活動」について
今年は2クラスのため、学校で講話。
- *東四郎丸小4年生「福祉」の総合授業で3回来所。利用者さんとの交流を行った。

～仙台市東四郎丸児童館でボランティア～

- *親和女子大学ユネスコクラブ5名が) 夏1回児童館の活動に参加。
春は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となった。
- *仙台市東高マジック部10名がにこにこ児童館まつりでマジックショー
- *中田中学校科学部23名がにこにこ児童館まつりでサイエンスショー

～にこにこの家&仙台市東四郎丸児童館でボランティア～

*東北福祉大学健康科学部インターンシップ 6名

にこにこの家と東四郎丸児童館で4日間活動に参加。

*中学生職場体験 袋原中学生2名がにこにこの家と東四郎丸児童館の活動に参加。

*東北工業大学ボランティア部(2名)「クリスマス活動報告会」に参加。

*東四郎丸小4年生(50名) にこにこミニデイで3回ボランティア。

*子どもボランティアチームかっこ(4名)

「星空コンサート」「ピカソの日」を企画・運営。

「感謝祭」「にこにこ児童館まつり」「かっこ村の秋まつり」「クリスマス活動報告会」
で進行を行い、リーダーとなって活躍した。

～チームかっこの活動～

3月 西宮阪急百貨店絵本売り場で、和太鼓と手作り紙芝居「未来への贈り物」の発表の予定だった。担当の菅氏が来仙し、打合せも行ったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため延期となった。



♡ 未来への贈り物をたくさんありがとうございます♡



にこにこ児童館まつりで御神輿担ぎました



まるごと児童館まつりで紙芝居の発表!

～新型コロナウイルス感染予防対策の為中止となったイベント～

*NPO法人兵庫県子ども文化振興協会 *CAMPクリケットワーク

(6) 【防災・減災事業】

東日本大震災の教訓を未来に伝え、防災・減災教育に取り組む事業。

「防災・減災ワークショップ」

仙台市教育センター新防災副読本に添ったワークショップ



◎「仙台発そなえゲーム」2013年～

「市民協働による地域防災推進実行委員会の代表・事務局」

仙台市役所と仙台市民で震災の教訓を未来へ活かす体験型避難ゲームを開発した。震災の教訓を活かした「自助・共助・連携」の視点から地域コミュニティの活性化を図る新たな仙台版体験型避難ゲーム実践普及→体験する→意識づける→場がイメージできる→具現化できる→「なすことによって学ぶ」気づきのゲーム



◎「防災・減災学習プログラム」2014年～

～教育委員会元気アップ事業の助成を受け開発した

★未来へ震災の教訓を伝える★生活の場を支えあう★心の輪を広める



令和元年度実施会

日時		団体名	人数	ワークショップ	ファシリテーター
6/15 (土)	10:35~ 12:10	東仙台小学校	4年 120名	仙台発そなえゲーム	古澤・大沼 大野
	10:35~ 12:10		1, 2年 160名	いざというとき役に立つことしている?	小岩
6/18 (火)	13:30~ 14:20	金剛沢小学校	3年 79名	いろいろな災害のとき どうする?	小岩
6/22 (土)	11:00~ 11:45	蒲町小学校	5年 120名	仙台発そなえゲーム	小岩・大沼三 上・大野
6/26 (水)	14:20~ 15:20	生出中学校	14名	仙台発そなえゲーム	大野
			3, 4年 20名	家族ゲーム 防災リュック	小岩
6/29 (土)	10:35~ 11:20	郡山小学校	2年	いざというとき役に立つことしている?	小岩
6/29 (土)	10:30~ 11:15	東四郎丸小学校 地域防災訓練	1年 39名	家にいるとき地震がおきたらどうする?	担任
			2年 32名	いざというとき役に立つことしている?	担任
			3年 49名	いろいろな災害のとき どうする?	担任
			4年 47名	親子防災教室 「家族ゲーム防災リュック」	大野 ヘルブ渡邊
	9:30~ 11:30		5年 43名	仙台発そなえゲーム	庄子・古澤
7/8 (月)	13:15~ 15:15	せんだいほうれい学園	78名	仙台発そなえゲーム	小岩

7/13 (土)	10:20~ 11:20	仙台市危機管理 室 仙台市地域防災 リーダー(SBL) 全市バックアッ プ講習会	地域防災 リーダー (SBL) 652名	仙台発そなえゲーム	小岩 ヘルプ 大沼・大野
	15:20~ 16:20				
7/19 (金)	15:20~ 16:20				
7/20 (土)	10:30~ 12:30	東四郎丸児童館& 東四かっこ子ど も教室コラボ	30名	防災・減災ワーク&かん たんランチづくり	小岩
7/24 (水)	10:00~ 11:00	袋原小 下古川こども会	30名	親子防災教室 「家族ゲーム防災リュック」	大野 ヘルプ渡邊
8/31 (土)	9:50~ 11:30	柳生小学校	5年 134名	仙台発そなえゲーム	小岩・大沼大 野
9/7 (土)	8:45~ 10:15	中田中学校	2年 194名	仙台発そなえゲーム	小岩・大沼 庄子・古澤 三上・大野
9/10 (火)	13:10~ 16:00	東北学院大学 水谷ゼミ	22名	「仙台発そなえゲームを通し て地域防災を考える」	小岩 ヘルプ大野
10/21 (月)	14:20~ 15:50	東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科	4年 68名	仙台発そなえゲーム	小岩 ヘルプ大野
10/30 (水)	13:40~ 15:00	袋原中学校	2年 140名	仙台発そなえゲーム	大沼 ヘルプ大野
11/15 (金)	13:50~ 14:35	大和小学校	5年 178名	仙台発そなえゲーム	小岩・大沼 庄子・古澤 三上・大野
12/7 (土)	14:00~ 16:00	将監中学校区 地域ぐるみ健 全育成協議会	60名	仙台発そなえゲーム	小岩 ヘルプ大野
12/20 (金)	18:00~ 20:00	太白区保健福 祉センター	60名	仙台発そなえゲーム	小岩 ヘルプ大野

[展示・その他]

日時		主催	場所	内容
9/1 (日)	10:00~ 15:00	仙台市危機管理室 減災推進課	勾当台公園	せんだい防災広場 2019
10/6 (日)	10:00~ 13:00	ほっとネット in 東中田	東中田保健 センター	東中田市民まつり 東中田けんこうひろば

【小岩へ依頼 講話・実施会】

日時	主催	場所	内容
11/12 (火)	宮城教育大学 教職大学院	宮城教育大学	「学校教育・教職研究 A (防災教育)」 そなえゲーム実施会 開発の背景や実践してみ ての手応えなどの講話



仙台市地域防災リーダー（SBL）バックアップ講習会

主催：仙台市危機管理室減災推進課

場所：仙台市役所



大和小



将監中学校



東北福祉大

～新型コロナウイルス感染症予防対策の為に中止となった講座～

* シルバーセンター 3月18日 仙台発そなえゲーム進行役養成基礎講座

(7)【子ども食堂事業】

○子どもサロン にこ寺子屋

年間 21 回 子ども 45 名、 大人 136 名

居場所づくり活動の内容:

- *地域のボランティアなどによる宿題や自主学習の学習支援
- *にこにこの家スタッフやボランティアと一緒にご飯作りや配膳、片付けなど
- *にこにこの家スタッフやボランティアと一緒にお仕事体験
仙台発そなえゲームのツール制作
- *子どもたちの遊び
ブロック遊び、卓球、オセロ、将棋、ドミノなどみんなで一緒に遊んでいる。

お昼の部：ひきこもりの子たちの居場所

夜の部：家庭支援の必要な子たちの居場所になれるように取り組んできたが、今後も子ども食堂が「子どもの貧困問題」を緩和できる一助になれるようにしていきたいと願っている。

*学習・生活支援活動

・朝ご飯を食べていない家族：

「ごはん」を食べるという習慣づけができたように思える。自分たちが作ったごはんを母親に食べてもらうことで、つながりが強くなってきたように思える。

*にこ・あい・ネット～相談活動～

- ・南部発達相談支援センターからの紹介で相談に来た母と支援の必要な子どもが、他の子どもたちと楽しそうに過ごしている姿が見られた。
- ・令和元年度は、袋原中学校区の中学校と三小学校の職員室前に、にこ寺子屋のチラシを掲示してもらったが、今後は相談コーナー担当の元先生達と各学校と共有を図る動きをする。
食生活や学習状況が、子供の成長に大きく関わることを踏まえ、子ども食堂の活動を意味ある活動にしていきたい。



(8) 【その他の連携事業】

○子どもの放課後支援を進める会

放課後ケア・児童館・放課後子ども教室・民間放課後児童クラブとの連携事業
今年度は学校と地域の連携を伝える講演などを行った。児童館ばかりでなく小中学校へもちろしの配布をし、広報に力を入れた。実行委員会計担当。

○仙台市内児童館連絡協議会

仙台市の指定管理運営団体や業務委託事業所と連携し月1回の児童館運営検討会。
児童館の運営について話し合い、子どもたちの健全育成事業に取り組んできている。参加できない日も多々あったので次年度はできるだけ参加する予定である。

○宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会理事会

2021年度の「全国児童館大会」の実施。副理事長。

○太白区子育てネットワーク事業

太白区社会福祉協議会主催事業。太白区の乳幼児親子支援活動に参加した。

○みんなのふれあいネットワーク

西・東中田地区のプロジェクト事業。会議への参加が今年度は難しい状況だった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
文化、芸能等のボランティア活動事業	【介護予防事業】 ミニディサービス： 閉じこもり予防・運動等 カラオケ・麻雀・ おでかけ・野外活動。 フラダンス・民謡などの カルチャーサロン	69回 月曜日 火曜日	にこにこの家	延べ 392人	高齢者中心 にどなたでも 延べ613人	3,412

福祉、医療及び教育施設並びに地域における文化・芸能等の提供事業	【児童館事業】 仙台市東四郎丸児童館 仙台市指定管理事業 ・子育て家庭支援事業 ・児童健全育成事業 ・放課後児童健全育成事業 ・地域交流推進事業 子育て支援室 ma*ん*ma ルーム	月曜日から 土曜日	東四郎丸 児童館	8人	0歳時から18歳児児童・乳幼児親子等	29,322
	白石市第一児童館 業務委託事業 ・放課後健全育成事業 ・健全育成事業 ・地域交流推進事業	月曜日から 土曜日	白石市第一 児童館	9人	児童館・放課後健全育成児童	18,180
	白石市第二児童館 業務委託事業 ・放課後健全育成事業 ・健全育成事業 ・地域交流推進事業	月曜日から 土曜日	白石市第二 児童館	11人	児童館・放課後健全育成児童	26,458
	仙台市東四郎丸児童館 常勤スタッフ4名 非常勤スタッフ 4名 白石市第一児童館 常勤スタッフ3名 非常勤スタッフ 6名 白石市第二児童館 常勤スタッフ4名 非常勤スタッフ 7名					
【地域交流事業】 ○ほっとネット in 東中田 (地域福祉ネットワーク)	運営委員会 月1回 定例会：奇数月	にこにこの家・東中田地区	社会福祉法人など19団体	東中田地区住民	67 (ほっとネット)	
講演会・講習会実施	*講演会 6月21日 10月18日 *東中田市 民まつり 10月6日 *日赤講習会 2月15日	東四郎丸コミュニティセンター ・東中田保健センター	延べ30人 (他の団体スタッフ40人)	講演会・講習会 東中田地区の方235人		

	<p>○袋原中学校区学びのコミュニティ事業</p> <p>* 東中田復興プロジェクトにかっこ和太鼓隊</p>	<p>R1年5月から R2年3月</p>	<p>・袋原中で会議 4回開催 ・四郎丸小で和太鼓隊練習</p>	<p>登録 71名 延べ 320名</p>	<p>東中田地区三小学校・袋原中学校の子ども教員地域の方・スーパーバイザー等</p>	<p>60 (学コミ)</p>
	<p>【子育て支援団体連携】 東中田子育てネットワーク事業：</p> <p>○「0・1・2・3 おやこひろば in 東中田」</p> <p>東中田児童館・袋原コミュニティ児童館・東四郎丸児童館・太白区保健福祉センター家庭健康課・東中田保健センター</p> <p>協力：袋原たんぽぽホーム グーチーパー ほっこりサロン</p>	<p>6月18日</p>	<p>東中田保健センター</p>	<p>6人 (他の団体スタッフ40人)</p>	<p>179名(乳幼児119・大人60) スタッフ39名 合計214名 袋原たんぽぽホーム、若竹幼稚園、若竹よいこのくに保育園 園児や先生も参加</p>	
	<p>○「老人クラブ運動会」</p>	<p>10月26日</p>	<p>東中田市民センター</p>	<p>2人 (他の団地スタッフ5人)</p>	<p>三児童館の子どもたち 30人</p>	
	<p>○「ひがしなかたかにかっこまつり」</p> <p>協力： 仙台市袋原たんぽぽホーム アフタースクールばるけ・読み聞かせグーチーパー・めろんの会 東四かにかっこ放課後子ども教室 チーム東中田っ子 NPO法人 FORYOU にこにこの家</p>	<p>11月17日</p>	<p>東四郎丸コミュニティーセンター</p>	<p>7人 (他の団体スタッフ29人)</p>	<p>96名 (乳幼児38・小20・大38) スタッフ38名 計125名</p>	

市民団体への の芸能等の 普及活動	【NPO事業】					7,888
	【防災・減災事業】					
	「防災・減災 ワークショップ」 ○「仙台発そなえゲーム」 ○「防災・減災学習 プログラム」	R1年4月から R2年3月 まで	仙台市内小 学校、中学 校、大学、 仙台市危機 管理部、石川 県など	2人 事務 局・代表	普及活動 延べ2,308名 27回	100
その他、この 法人の目的 を達成する ために必要 な事業	○地域交流等	随時	にこにこの 家	3人	どなたでも	7,301
	○住民主体による訪問型 地域支え合い活動促進事 業	R1年6月か らR2年3月	にこにこの 家	2人 生活サ ポーター 10人	92名	240
	○子どもサロンにこ寺子 屋 子ども食堂助成事業	R1年4月か らR2年3月	にこにこの 家	5人	21回 子ども45名 大人136名	247
	【心の輪事業】 「企業や大学との連携事業」					
	○「西宮阪急百貨店から の絵本プレゼント」	R1年	宮城県の 児童館へ	3人	2,894冊 (R2,3月現在)	
	○由本さんとゆかいな仲間たち (阪急百貨店・ニットプランナーなど)					
	江藤&今川フットサル教 室	5/17(金)	にこにこの 家	8人 延べ45 人	児童クラブ 延べ190名 児童・地域	
	阪急百貨店 由本氏 ハリーカフェ・由本さん とあそぼう・読み聞かせ	7/25(木)	東四郎丸児 童館 東四郎丸小			
	由本さんとゆかいな仲間たち フットサル・関西たこ焼き みんなで○×ゲーム	7/26(金)				
	○神戸親和女子大学 楽しいゲームや交流	8/6(水)	東四郎丸児 童館	6人	児童クラブ 45名 学生5名	
計					85,260	

3 組織運営に関する事項

1. 総会の開催

2019年度通常総会を開催

開催日時：2019年5月31日（金）10：30～12：30

場所：ここにこの家

議案：第1号議案 議長選任

第2号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支決算書、事業計画書、収支予算書（案）の審議及び議決

第3号議案 役員任期満了につき改選

2019年度臨時総会を開催

開催日時：2019年12月1日（日）11：00～12：00

場所：茂庭荘会議室

議案：第1号議案 議長選任

第2号議案 定款変更の議決

2. 理事会の開催

開催日：6月11日（火）2018年事業報告及び2019年度事業計画

11月19日（火）2019年度事業経過報告及び定款変更

3. 会議

(1) 東四郎丸児童館

毎月1回定例会、臨時常勤会議開催 年 15回

ここにこ児童館応援隊会議 年 2回

児童クラブ保護者会 年 3回

とうちゃんS'会議年3回・東中田子育てネットワーク会議年5回

(2) 白石第一・第二児童館

毎月1回定例会 各年12回・親の会 各年 2回

(3) 事務局会議 年 5回

(4) ほっとネット会議 年 15回

(5) 袋原中学校学コミ会議 年 4回

4. 組織の広報

町内回覧・地域の福祉ネットワーク施設や学校、町内会など50箇所配布、HP

5. 会員

2019年度 正会員 31名

賛助会員 41名

6. 事務局員体制

- (1) NPO法人 FOR YOU にこにこの家事務局(太白区四郎丸字神明 16-2)
 事務局長:1名 東四郎丸児童館兼務 事務局チーフ:1名 白石児童館兼務
 非常勤スタッフ 2名 有償ボランティア 4名 アルバイト 1名
 訪問型サポーター 10名
- (2) 仙台市東四郎丸児童館(太白区四郎丸字大宮 26-10)
 館長:1名 常勤支援員:3名 非常勤支援員:4名 アルバイト 2名
- (3) 白石市第一児童館 (白石市字亙理町 37-1)
 館長:1名 常勤支援員:2名 非常勤支援員:6名 アルバイト 1名
 白石市第二児童館 (白石市字白石沖 6-3)
 館長:1名 常勤支援員:2名 フルタイム非常勤支援員:1名 非常勤支援員:6名

7. 職員研修

NPO法人 FOR YOU にこにこの家全職員研修		1回
にこにこの家事務局事務局	・仙台市障害高齢課 ふれあいであいホーム研修	1回
	・仙台市障害高齢課 訪問型研修	3回
	・仙台市子ども未来局 子ども食堂研修	3回
	・杜の伝言板ゆるる 研修	2回
	・ほっとネットin 東中田	3回
仙台市東四郎丸児童館	・仙台市児童館支援員研修	11回
	・宮城県児童館連絡協議会研修	1回
	・仙台市発達障害支援センター研修	1回
	・ほっとネットin 東中田	3回
	・子どもの放課後支援を進める会研修	1回
	・特別支援コーディネーター研修	3回
	・袋原たんぽぽホーム研修	1回
	・ミニかっこっこセミナー	2回
白石市第一児童館	・宮城県児童館連絡協議会研修	3回
	・放課後児童支援員研修	1回
	・児童館職員等研修会	1回
白石市第二児童館	・宮城県児童館連絡協議会研修	4回
	・放課後児童支援員研修	5回
	・児童館職員等研修会	2回